

第28回福島県中山間地域等直接支払制度評価検討会（現地調査）

平成27年10月14(水) 10:40～13:00

意見交換会(尾登多目的集会所)



尾登多目的集会所内、集落独自で作成したこれまでの活動写真を展示。



集落の取組について説明する齋藤勝利組合長。説明資料は尾登集落独自で作成したもので、わかりやすく作られており、スムーズに説明が行われた。



集落の取組について真剣な眼差しで話を聞く委員。委員からは福島市の菜の花の活用例を挙げる等、新たな視点を提供した。



ザリガニ駆除についての取組写真について説明する集落の方。



集落の上部にあるため池は農業用水としてだけでなく、飲料水としても使用されており、ライフラインとして重要な役割を担っている。



ため池について説明を聞く委員。ため池の土手にザリガニが穴を開けているとのこと。



集落の方々が工事した斜樋(しゃひ)。
業者ではなく、農家の方々によるものだと聞いた委員
は驚きを隠せなかった。



そば畑の上の約30a程の田。



ため池から数百メートル下った所にある水田。
そばは草が生い茂ることもなく、きれいに育成されて
いた。



中山間地域でしか見られない段々になっているほ場は
壮観であり、委員は目に焼き付けている様子であった。



昨年度に改良工事(廃材利用)を行った用水路を視
察する委員。



集落の農家の方々のみで75mの延長を施行。